

製品名: FGF-12 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10921**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	27kDa

抗原情報

遺伝子名	FGF12
別名	FGF12; FGF12B; FHF1; Fibroblast growth factor 12; FGF-12; Fibroblast growth factor homologous factor 1; FHF-1; Myocyte-activating factor
遺伝子 ID	2257.0
SwissProt ID	P61328
免疫原	抗血清はヒト FGF12 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 31-80

背景

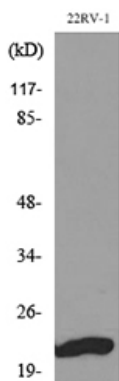
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、線維芽細胞増殖因子 (FGF) ファミリーのメンバーです。FGF ファミリーのメンバー

は、広範な細胞分裂促進作用および細胞生存活性を有し、胚発生、細胞増殖、形態形成、組織修復、腫瘍増殖、浸潤など、様々な生物学的プロセスに関与しています。この増殖因子は、ほとんどの FGF ファミリーメンバーに存在する N 末端シグナル配列を欠いていますが、核局在シグナルとして機能することが実証されている塩基性残基のクラスターを含んでいます。哺乳類細胞に導入されたこのタンパク質は核に蓄積しましたが、分泌されませんでした。この遺伝子の具体的な機能はまだ解明されていません。異なるアイソフォームをコードする 2 つの選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能:神経系の発達と機能に関与していると考えられる。、類似性:へパリン結合成長因子ファミリーに属する。、サブユニット:SCN9A の C 末端領域と相互作用する。、組織特異性:脳、眼、精巣。胎児の網膜、嗅上皮、嗅球、体壁の分節パターンで高度に発現。成体の嗅球では、小脳、深部小脳核、皮質、および複数の中脳構造では発現が低い。、

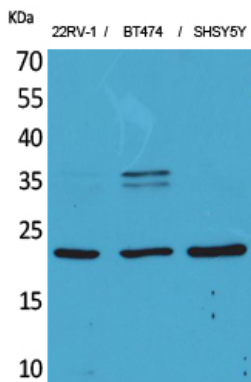
研究分野

MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein;アクチンと細胞骨格を制御;がんの経路;黒色腫;

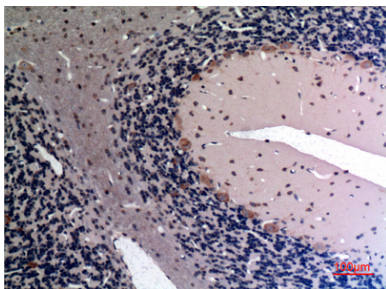
画像データ



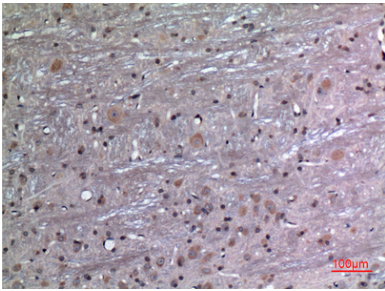
FGF12 抗体を使用した 22RV-1 細胞の溶解物のウエスタン プロット分析。



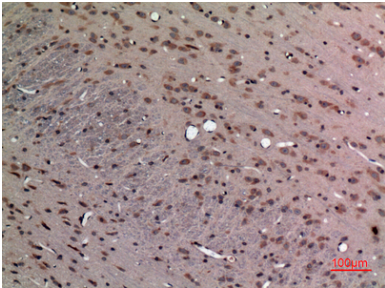
FGF-12 ポリクローナル抗体を使用した 22RV-1、BT474、SHSY5Y 細胞のウエスタン プロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



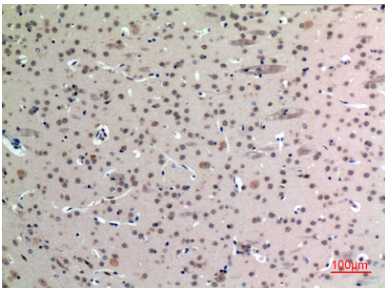
パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された